

## 平成18年度財務の概要

### 主な事業

平成18年度の事業総額は519百万円で、そのうち施設関係の主なものは、大学で、学生の安全性を目的とし、進入路整備工事と学生駐車場水銀灯設置工事を総額26百万円かけて設置、又、設備関係では、教育関係設備充実の為、パソコンやピアノ等をリース総額で349百万円、図書は76百万円、機器備品は11百万円の事業を行いました。

### 収支の概要

消費収支については、消費収入の部で、帰属収入は7,489百万円となり前年度決算に比べて65百万円の減少となりました。

その主な要因は、少子化の影響で在籍者数が前年比378人の減少し、学生納付金が前年度比238百万円の減少、補助金が99百万円の減少となり、雑収入は退職金財団交付金・退職金社団交付金の流入により291百万円の増加となりました。

また、基本金組入額は163百万円で、その主なものは、図書の購入及び大学の進入路整備・学生駐車場水銀灯の設置等であります。

したがって、消費収入合計は7,325百万円となり、前年度比3百万円の減少となりました。

一方、消費支出の部合計は、7,207百万円で前年度比304百万円の減少となりました。

その主な要因は、人件費で手当等の改正により256百万円の減少、教育研究経費が38百万円の減少、管理経費は8百万円の減少となりました。

消費収支差額は、118百万円の収入超過となり、次年度繰越消費収入超過額は、791百万円となりました。

1. 平成18年度の資金収支は、収入合計12,107百万円、支出合計12,109百万円となりました。

収支は2百万円のマイナスとなり、前年度繰越支払資金は5,894百万円、次年度繰越支払資金は5,892百万円となりました。

2. 平成18年度末資産概要は、総資産合計26,043百万円となり、平成17年度比204百万円の減少となりました。

①資産の内訳は

イ. 固定資産は19,725百万円で前年度比190百万円の減少

内訳は、有形固定資産は14,931百万円で前年度比212百万円の減少となりました。

主因は減価償却が328百万円増の5,545百万円となったことによります。

その他の固定資産は4,794百万円で前年度比23百万円の増加となりました。

ロ. 流動資産は6,318百万円で前年比14百万円の減少となりました。

②負債の内訳は

イ. 固定負債は1,981百万円で前年度比444百万円の減少

内訳は、長期借入金は561百万円で前年度比48百万円の減少、退職給与引当金は1,420百万円で前年度比396百万円の減少となりました。

ロ. 流動負債は2,704百万円で前年度比42百万円の減少

内訳は、未払金および前受金等が2,656百万円で前年度比42百万円の減少となりました。

ハ. 基本金は、20,567百万円で前年度比163百万円の増加

ニ. 翌年度繰越消費収入超過額は、791百万円となり前年度比118百万円の増加となりました。